

報 告 書

(3 班)

開催日時	平成 2 5 年 2 月 4 日 (月)		
開催場所	住田町農林会館		
出席議員	挨拶 藤倉 泰治 (班長)		
	司会進行	菅原 悟 (副班長)	欠席：佐竹 強
	報告者	清水 幸男	
	記録者	菅野 定	
参加人数	3 3 人		
主な要望 提言等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害情報に関して、陸前高田市は宮城県の情報も大切ではないか。 ・ 市民会館で被災した生存者に対して、「奇跡の 1 1 人」の表現もあるが他地区の状況も合わせて震災の悲惨さを後世に伝えるべきである。 ・ 震災の検証を早急に行い、防災計画の見直しをしてほしい。 ・ 震災時における行政幹部職員の震災に対する責任問題はどうか。 ・ 長期に及ぶかさ上げ後の商業地は賑わいを取り戻せる可能性があるのか。また、高台に商業地を形成してはどうか。 ・ 都市計画の決定がこの 2 月というのは、拙速すぎるのではないか。もっと市民と議論する必要があるのではないか。 ・ 震災以前の高田駅付近への街並み形成は反対である。 ・ かさ上げ事業を小友町内でも行ってほしい。 ・ J R 大船渡線 (B R T 路線含み) と三陸鉄道をつないでほしい。 ・ 市民は様々な相談で市職員の心ある対応の改善を望む。 ・ 市内各地域にまちづくり協議会の様なものが設立できるよう指導してほしい。 		
所 感	<p>藤倉 泰治</p> <p>市や議会からの情報不足を強く指摘された。仮設団地の暮らしが今後どのようなようになっていくのか、深刻な不安を抱えている。議会としてその不安に答えるような資料や説明の改善を感じた。震災の検証については現在市民に対して聞き取りが行なわれているが、市民の実際の体験の声を集め、その検証をさらに広げることによって、教訓をまとめ、今後の防災対策とまちづくりに生かす必要性を感じた。この点についての今の時期における議会の取組も考えさせられた。</p> <p>菅原 悟</p> <p>震災の検証を早急に行い、防災計画の見直しと共に震災被災に対し</p>		

での責任の所在を明確にすべきとの意見が出された。

また、今後、地域ごとにまちづくり協議会を設立し、復興ビジョンを議論する必要があるのではとの意見や市内の情報が乏しい旨の意見もあったが、市外に生活している市民への細やかな情報教頭の配慮が重要であると感じた。

清水幸男

防災上安全を確保できる情報の伝達、「安全なまちづくり」と「にぎわいのある町」のあり方等「防災とまちづくり」の意見が多く寄せられ、産業再建と人口減少の課題に直結する大きな課題である。

遠隔地の仮設では、市の情報が乏しいとの意見もあり、より綿密な情報提供の必要性を感じた。

菅野 定

要望書が1件あり、議員の一人としてその内容を検討し、良いものは良いと判断していきたい。地震等の災害情報については1分1秒を争うことでもあり、宮城県のものや岩手県のものをいかに役立てていくのか大切な問題である感じました。

市民が高田市のためにいろいろと考えて、意見をのべていただく報告会はもっともっと内容のあるものへと成長させていきたいものです。そして、私としてはそれらの意見・質問に答えられるよう精進し活動に役立てていきたいと思いました。

陸前高田市議会議長 伊藤 明彦 殿

平成25年2月18日

陸前高田市議会議会報告会開催要綱第10条第1項の規定により提出します。

平成24年度議会報告会第3班

班長 藤倉 泰治 ㊟